

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	一般国道46号 <small>もりおかにし</small> 盛岡西バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自： <small>もりおか</small> 岩手県盛岡市永井第一地割字高屋 至： <small>もりおか</small> 岩手県盛岡市上厨川字前湯	延長	7.8 km		
事業概要	<p>一般国道46号は、岩手県盛岡市から秋田県秋田市に至る延長約101.8 kmの主要な幹線道路である。</p> <p>盛岡西バイパスは岩手県盛岡市永井第一地割字高屋から盛岡市上厨川字前湯に至る延長7.8 kmの4車線（一部6車線）道路である。</p>				
	S59年度事業化 (H14年度事業延伸)	S59年度都市計画決定 (H21年度変更)	S61年度用地着手	S62年度工事着手	
全体事業費	約453億円	事業進捗率 (令和2年3月末時点)	約77%	供用済延長	7.8 km (暫定)
計画交通量	30,900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/事業全体 117億円/842億円 事業費：97億円/790億円 維持管理費：20億円/52億円	総便益 (残事業)/事業全体 381億円/1,117億円 走行時間短縮便益：344億円/996億円 走行経費減少便益：36億円/104億円 交通事故減少便益：1.1億円/18億円	基準年	令和2年
感度分析の結果	<p>【全体事業】交通量変動：B/C=0.99~1.6(交通量 ±10%) 【残事業】B/C=1.3~5.2(交通量 ±10%)</p> <p>事業費変動：B/C=1.3~1.3(事業費 ±10%) B/C=3.0~3.5(事業費 ±10%)</p> <p>事業期間変動：B/C=1.3~1.4(事業期間±1年) B/C=3.1~3.3(事業期間±1年)</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 現道等の年間渋滞損失時間の削減 (渋滞損失時間：218.4万人時間/年、渋滞損失削減率：約6割削減) <p>②安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 三次医療施設へのアクセス性向上 (盛岡市前湯地区～岩手医科大学附属病院 現況37分⇒将来34分) <p>③災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県地域防災計画において、国道46号が緊急輸送道路（第1次路線）に指定 <p style="text-align: right;">他13項目に該当</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>○岩手県知事の意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。 一般国道46号盛岡西バイパスは、盛岡都市圏の交通の円滑化による都市環境の改善や東北縦貫自動車道へのアクセス向上などの効果が期待されることから、令和7年度の開通に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。 また、本事業において検討された技術基準改定による橋梁の構造変更やコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。 <p>○以下の団体等から、盛岡西バイパスの整備促進について要望あり。 岩手県（知事）、盛岡市（市長）、矢巾町（町長） 国道46号「地域高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会</p>				
事業評価監視委員会の意見	対応方針（原案）は妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 岩手医科大学附属病院の移転（令和元年9月） 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 昭和59年度新規事業化、用地進捗率100%、事業進捗率約77%（令和2年3月末時点） 平成25年度全線暫定供用（延長7.8 km） 				

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・令和7年度の供用を目指して事業を実施中。

施設の構造や工法の変更等

- ・防草対策の見直しを行うことでコスト縮減を図っている。

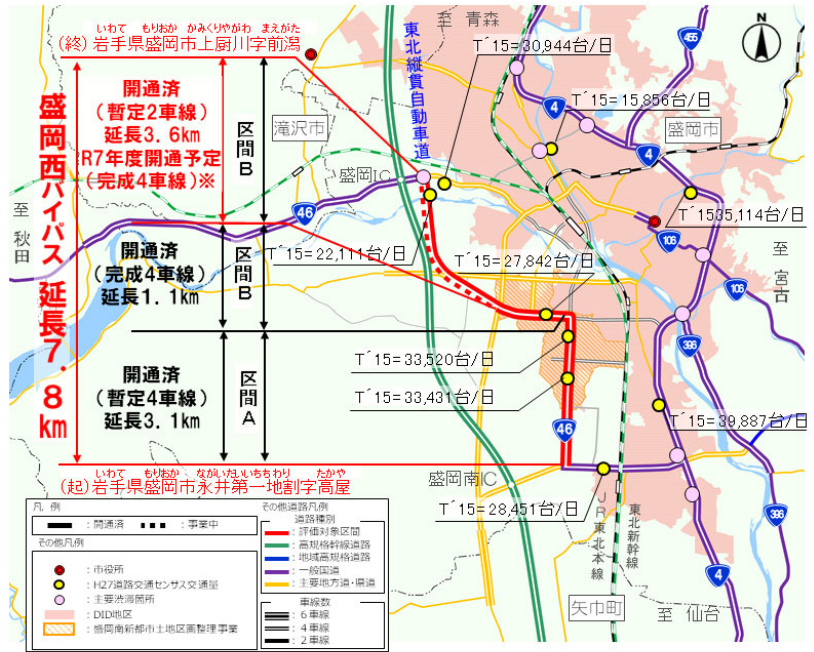
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

盛岡市内の交通混雑の緩和、救急医療施設へのアクセス向上等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。